

## 会議録

(9-1)

|                    |   |  |         |  |  |
|--------------------|---|--|---------|--|--|
| 会議の名称              | 令和7年度第2回春日部市総合教育会議  |  |         |  |  |
| 開催日時               | 令和7年11月18日(火)   | 開会   | 午後4時00分 |  |  |
|                    |   | 閉会   | 午後5時00分 |  |  |
| 開催場所               | 春日部市役所本庁舎5階 市長公室  |  |         |  |  |
| 議長(会長等)氏名          | 岩谷 一弘   |  |         |  |  |
| 出席者                | 委員氏名  | (出席人数：6人)<br>市長 岩谷 一弘<br>教育長 鎌田 亨<br>教育長職務代理者 水沼 章文<br>教育委員 岡田 新司<br>教育委員 山口 早苗<br>教育委員 高橋 朋子  |         |  |  |
|                    | 説明者その他  | (出席人数：7人)<br>学校教育部長 篠原 直樹<br>学務指導担当部長 佐山 宏樹<br>社会教育部長 樋口 智<br>学校教育部次長兼教育施設課長 内藤 晋吾<br>学務指導担当次長兼指導課長 鶴見 和弘<br>社会教育部次長兼社会教育課長 関根 栄治<br>学校教育部教育総務課長 石川 貴英 |         |  |  |
|                    | 事務局   | (出席人数：4人)<br>総合政策部長 川村 明<br>総合政策部次長兼政策課長 渡邊 賢秀<br>政策企画課政策企画担当主幹 小山 裕一<br>政策企画課政策企画担当主査 照井 和枝   |         |  |  |
| 次第及び公開・一部公開・非公開の区分 | <次第><br>1 開会<br>2 市長あいさつ<br>3 教育長あいさつ<br>4 協議・調整事項<br>(1) 合併後20年の教育行政のあゆみと今後の取り組みについて<br>(2) 春日部市の英語教育について<br>(3) その他<br>5 事務連絡<br>6 閉会 |  |         |  |  |
|                    | (全て公開)  |  |         |  |  |

|                  |   |
|------------------|---|
| 一部公開・非公開の場合はその理由 | 非公開部分は、ありません。   |
| 配 布 資 料          | <ul style="list-style-type: none"><li>・令和7年度第2回春日部市総合教育会議 次第</li><li>・令和7年度第2回春日部市総合教育会議 座席表</li><li>・令和7年度第2回春日部市総合教育会議 名簿</li><li>・合併後10年の教育行政のあゆみ 今後の取り組み</li><li>・春日部市教育行政（合併後11～20年）のあゆみと 今後の取組</li><li>・春日部市の英語教育</li></ul> |
| 会議録の作成方法         | ■ 録音テープ等を使用した要点記録   |
| 会議録署名の指定         | 市長による署名   |

| 発言者 | 発言内容・決定事項  |
|-----|--|
| 説明者 | <p>【1 開会】<br/>     《春日部市総合教育会議要綱第7条により、会議の内容全てを公開することの報告等》</p> <p>【2 市長あいさつ】</p> <p>【3 教育長あいさつ】</p> <p>【4 協議・調整事項】<br/>     (1)合併後20年の教育行政のあゆみと今後の取り組みについて<br/>     《資料に従い説明》</p>  |
| 議長  | <p>こちらのテーマについて、委員の皆様から順番にご意見を伺ってまいりたいと思います。</p>  |
| 委員  | <p>合併から10年、さらに20年と社会の様々な問題提起を受けながら、大きな変革を遂げてきたものと思う。<br/>     施設の老朽化や暑さ対策、さらに教職員のみならず社会全体での働き方改革などへ対応してきた。<br/>     教育の世界は、一足飛びにはいかない。ジョギング程度でも少しづつ進んでいかなくてはならないのだと思います。<br/>     今後の20年の飛躍についても、職員の皆さまのご努力に期待しております。</p>  |
| 委員  | <p>全国的にも不登校の児童生徒が急増しており、特に低学年の不登校が急増している現状ですので、居場所づくりが重要だと思います。<br/>     校内教育支援センターの設置率が、さいたま市では100%ということですが、春日部市では今年度から小学校3校に「おあしすルーム」を設置していただき感謝しております。<br/>     今後も更なる取組を進めていただき、ぜひ全小学校に設置するようお願ひいたします。<br/>     支援員について、現状では相談員を週2日派遣して対応している状況ですので、支援員等の増員を検討いただきたいと思います。</p> |
| 委員  | <p>こともの居場所づくりも重要ですが、大人にとっても高齢化の現状から居場所づくりがとても重要と考えていますので、公民館は、市民にとって大切な場所だと思います。<br/>     しかしながら、公民館の老朽化が進んでおりますので、安全性や快適性の改善に努めていただきたいと思います。<br/>     また、現在開催している美術展覧会や公民館での学びなど、市民の活動を支援する取組をお願いしたいと思います。</p>  |

| 発言者 | 発言内容・決定事項  |
|-----|--|
| 委員  | <p>先日、行政視察で訪れた学校では1学年100人のうち20人が不登校であると聞き、大変驚きました。不登校は、現代社会も背景に多くの要因があると思いますが、様々な視点を持って、こどもたちをフォローしていただきたいと思います。</p> <p>また、性的マイノリティの観点から、中学校の制服についても大きな問題となっておりますので、取り上げてもよいのではと思います。</p> <p>働き方改革については、非常に難しい問題であると考えています。教職員の皆さんのがんばりの声をぜひ聞いていただいて、双方向の風通しのよい職場環境を整えていただきたいと思います。</p>  |
| 教育長 | <p>この10年を振り返ると、一番予測できなかつたことは新型コロナウイルス感染症への対応であると思います。大きな重荷ではありました。コロナ禍においては教育現場だけでなく、社会全体が新たな知恵を絞ったことで前に進むことができたと思います。</p> <p>春日部市の公共施設の3分の2は教育施設であります。すでに老朽化が進んでいる状況ですので、今後ハード面での費用が大きくなっています。それをいかに計画的に進めるかということが大きな課題ですので、より具体的に計画を立てていかなくてはならないと考えています。</p> <p>校内教育支援センターについては、財源確保の問題で政策会議で認めていただけませんでしたが、それではこどもたちを救えないということで、予算をかけずに設置をいたしました。</p> <p>一つの学校を例にお話しますと、当初2人だった児童が今は7～8人に増えている。登校できなかつた児童や保健室登校だった児童が「おあしすルーム」に行けるようになっています。これは一番大事なことだと思っています。</p> <p>今後1～2年を目標とし、近隣自治体に遅れをとらないよう、こどもたちを救うため、学校の中での居場所づくりをしっかりと前に進めたいと考えていますので、市長にお力添えいただきたいと思います。</p> <p>部活動の地域移行についても、数年の間に答えを出さなければならぬ。職員と会話を重ね、教育委員の皆さまのご意見をいただきながら、しっかりと前に進めていきたいと考えています。</p> <p>社会教育の分野では、神明貝塚についても今後10年の間には具体化されるのではないかと思っている。</p> <p>また、学校活動の地域展開が広がっていくと、スポーツ推進課や社会教育課との関わりがより一層大事になっていきますので、公民館の利活用を含め、検討を進めていきたいと考えています。</p> |

| 発言者 | 発言内容・決定事項  |
|-----|--|
| 議長  | <p>公共施設に関するご意見が多くありました。教育施設のみならず施設の老朽化が進んでおりますので、様々な検討を進めているところですが、原則的には新たに整備はしないという考えです。</p> <p>施設整備には多額の費用がかかりますし、その後の運営費も必要となります。そこで、現在ある施設を最大限活用していくことが重要であると考えています。耐震化や大規模改修の問題で廃止する施設があっても、現存の施設に機能移転するなどの工夫をしているところです。</p> <p>公民館に新たな機能を追加し市民センターとして運用したことは、非常に良かったと考えています。あまり公民館に行くことがなかったこどもたちが今はたくさん来ています。様々なかたちで居場所づくりをしていければと考えています。</p> <p>老朽化への対応としましては、リノベーションなど時期をみて実施してまいります。</p> |
| 説明者 | <p>(2) 春日市の英語教育について<br/>     《資料に従い説明》</p>   |
| 議長  | <p>こちらのテーマについて、委員の皆様から順番にご意見を伺ってまいりたいと思います。</p>  |
| 委員  | <p>英語教育は点数なども大事ではありますが、まず英語を好きになってもらいたいと思います。</p> <p>好きにならないとなかなか取り組むことができないですし、話すことができるようになり、会話を楽しむことを一番に取り組んでいけば身についていくのではないかと考えています。</p>  |
| 委員  | <p>児童生徒それぞれの特性を生かして、できることを褒めて伸ばすような指導をしていただきたいと思います。一例ですが、うちのこどもたちには英語の本を買い与えてみたところ、読みたいという気持ちから勉強をして、読めるようになったことがありました。</p> <p>視点・発想を変えてみて、英語に興味を持ってもらえるとよいのではないかと思います。</p>   |
| 委員  | <p>英語教育に関して、様々な取組をしていただいていると感じました。今は外国籍のこどもが多くいますが、あるこどもは、母国語・英語・日本語の3か国語を話すことができます。すばらしいと思います。</p> <p>世界には第二言語をもつ国はどのくらいあるのでしょうか。</p> <p>英語を小さいときから学ぶというのは、すばらしいことですしそひ推進していただきたいと思います。</p>   |

| 発言者 | 発言内容・決定事項   |
|-----|---|
| 説明者 | <p>世界196か国の中でも英語を第二言語とする国は58か国あるようです。</p>   |
| 委員  | <p>先生方のご努力に感謝しております。</p> <p>まず英語は、楽しむことが大事です。春日部市にも外国からの旅行者の方が多くいらっしゃいますが、駅までの道を聞かれたこどもが、意外と答えているのを見かけます。</p> <p>書くことは経験によって上達すると思いますので、書く機会が増えればできるようになるのではないかと考えます。</p> <p>授業の質の向上のためには、生きた英語の提供をしていただけるALTの存在がとても重要だと思います。</p> <p>現在は、1人で2~3校担当しているようですが、すべての小中学校に1人ずつ配置していただくとよいと思います。</p> <p>中学校では、昼休みにALTの先生と生徒が楽しそうに会話しています。コミュニケーションを増やし、楽しく日常会話ができる機会を増やしていただきたいと思います。</p>   |
| 教育長 | <p>粕壁小学校では、平成9年から特別カリキュラムを認めていただき、英語活動を実施してきましたが、当時、研究発表会には数百人が見学に訪れていました。</p> <p>粕壁小学校の取組は学習指導要領にも影響を与える大きなものだったと思います。</p> <p>中学校における課題としては、受験に備えた学習をしなければならないということと、英語に親しみ会話を楽しむことの両立であると考えます。</p> <p>新学習指導要領において、小学校5、6年生は外国語が教科化され、既習事項となって中学校に入学してきますので、小学校から中学校への接続について研究するよう、指導課に指示をしてまいりました。</p> <p>指導課に英語の指導主事を配置し、各学校に指導支援できるよう、今後も引き続き指導課を中心にしてしっかりと取り組んでまいります。</p> <p>学習指導要領が2030年に改訂されます。授業時間数を学校の裁量で調整できるようになった場合、市としてどうしていくのかを含め研究してまいります。</p> |

| 発言者 | 発言内容・決定事項   |
|-----|---|
| 議長  | <p>粕壁小学校の研究発表会で印象に残っていることがありました。講師の方が先生方に「なぜこどもたちに英語を学ばせているのか」と質問されたのですが、それは、今のこどもたちが大人になる頃には、社会や職場においてたくさんの外国籍の方と対等に英語で話し、自分を表現することが求められる。英語は生活に不可欠であると、こどもたちに教えるべきだとおっしゃっていました。</p> <p>世界の国々に比べると日本人は内気な方が多いと言われますが、話せるというのはとても重要になると思います。</p> <p>試験のための学習は、繰り返し復習して覚えていくしかないとは思いますが、それぞれに合った勉強法を教えてあげるとよいのではないかと思います。</p> <p>ALTに関しては、教育委員会と連携して研究していきたいと考えています。</p> |
| 議長  | <p>(3) その他<br/>その他として、皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>《特になし》</p>   |
| 事務局 | <p><b>【5 事務連絡】</b></p> <p>1点お伝えさせていただきます。<br/>令和7年度の総合教育会議の開催についてです。<br/>次回は2月の定例教育委員会後の開催を予定しております。<br/>会議の内容等につきましては、今後、ご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p><b>【6 閉会】</b></p>  |

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和7年12月12日

署名者の職・氏名 春日部市長 岩谷 一弘 (原本は自署)